



スカートをはいたブラッド・ピット

少し前の話になりますが、今年も記録的な熱波に襲われたヨーロッパで、アメリカの人気俳優、ブラッド・ピットさんが、最新作上映会にスカートをはいて登場したという話題がありました。

ブラッド・ピットといえば、アメリカを代表する人気俳優。今から20年ほど前には、「世界一男らしく魅力的な人」にも選ばれ、50歳を過ぎた現在でも映画の世界で大活躍しています。そのブラッド・ピットさんが、スカートをはいてたくさんの人の前に現れたというニュースは、ネットを通じてまたたく間に広がりました。

私も、びっくりしてすぐにネットのくわしい情報を追いました。これがその時のブラッド・ピットさんの様子です。



どうですか？私は「ブラッド・ピット、やっぱりカッコいいなあ。」と惚れ惚れしました。スカートをはいてもブラッ

ド・ピットはブラッド・ピット。よく考えてみれば当たり前前のことです。それなのになぜ、ブラッド・ピットがスカートをはいたというニュースに、私はあんなにおどろいたのでしょうか。

みなさんは、先入観という言葉を知っていますか？これは、ある物事に対してあらかじめ持っている見方や考え方のこと。思い込みというと分かりやすいでしょうか。つまり、私は「スカートは女の人のはくもの」という先入観、思い込みがあったのです。だから、あのブラッド・ピットがスカートをはくなんて、どうかしてしまっただけにちがいない、どうしたのだろうと思っておどろいたのです。そんな先入観にとらわれていたことに気付いて、私ははさかしくなりました。

スカートは女の人のはくもの、ズボンは男の人のはくもの。そうでなければいけないのでしょうか。教室

を見回してみてください。ズボンをはいている女の子はいませんか。別におかしくないでしょう。同じように、男の子がスカートをはいていたっていいのです。だれだって、自分の好きな服を好きなように着る自由があるのです。

このように、男だから、女だからと、決めつけてしまいがちなことが他にもたくさんありそうです。

「女のくせに野球をやるなんて。」

野球が好きな女の子が野球をやって何が悪いのでしょうか。

「めそめそ泣くななんて男らしくない。」

男の人だって泣きたいときはあるし、泣いていいのです。

「赤ちゃんの世話は女がした方がいい。」

赤ちゃんの成長を見守る喜びはお父さんだって味わいたいのでは？

「男なのに男の人を好きなのは変だ。」

好きだと思う気持ちが変なんて、それこそ変です。

男の人の体と女の人の体は生まれつきちがいます。ですから、得意なこと、向いていることにちがいはあるのは当然です。互いの得意を生かし、協力して生活していきたいですね。でも、生まれてくるとき、自分で性別を選ぶことはできないのだから、「男らしく」とか「女らしく」ということにとらわれると、きゅうくつです。

さて、ブラッド・ピットさんは、なぜスカートをはいているのか聞かれて、ひと言、こう答えたそうです。「そよ風だよ、そよ風！」

猛暑の夏、涼しいそよ風を求めて軽やかにスカートをなびかせるブラッド・ピット。男女を超えて、最高にカッコいい「人」ではありませんか。

保護者の皆様へ

秋が深まり、過ごしやすくなってきました。体育発表会が終わり、各学年とも、今度は学習発表会に向けて一斉にスタートを切りました。子供たちはみんな張り切っています。応援をおねがいたします。